



新小山市市民病院ニュースレター

Shin-oyama City Hospital News letter

Vol.36

1 副院長挨拶 ～ DMAT隊出動！ ～

温暖化が叫ばれるようになって暖冬の年が増えた気がしていましたが、この冬は日本だけでなく米国もかつてない寒波に見舞われ、雪国の方々が命を落とす報道があり、またフロリダではイグアナが木から落ちて動けないまま横たわる姿もありました。トンガでは海底火山の爆発による津波、そして南半球への影響が懸念されています。地球としては46億年という長い歴史の中で驚くべき変化ではないことでも、私たちの暮らしは一変してしまう出来事が続く中で、コロナ禍が追い討ちをかけています。第6波が猛烈な勢いで世界中を駆け巡る中、通常診療と救急診療の両立をミッションに当院でも奮闘継続中です。最近ではエッセンシャルワーカーと呼ばれるようになった医療関係職種ですが、いったん感染あるいは濃厚接触者となれば、患者さん、同僚、もちろん家族にも感染させるわけで、勇気を持ちながら、そして怖れながら日々医療に携わっています。不幸にして感染が拡大し複数の職員が休む、あるいは病院で大規模なクラスターが起きる事態になれば、ミッションインポッシブルとなり、小山市そして近郊の医療崩壊が現実のものとなる可能性があります。そうならないことを祈るばかりです。

さて当院では、DMAT（Disaster Medical Assistance Team）を2隊、派遣が可能な体制となり、今後栃木県の審査を経て、災害拠点病院に指定される可能性が高くなっています。ここの医療圏には自治医大が災害拠点病院で存在するため、大災害が起こった場合には自治医大に本部が置かれ、人口も多く10Km以上離れた小山市は本当にカバーされるのかという不安がありました。しかし今までの当院のコロナ診療などでの地域貢献が評価されたようで、災害拠点病院の指定への道が開かれました。一昨年は佐野、足利、昨年は鹿沼の施設や医療機関がクラスターで籠城した折には、当院よりロジスティック担当のDMAT隊員3名が現地で活動してきました。異常気象、コロナクラスターなど今後DMATが出動する機会が増えるかもしれませんが、実地訓練どころか集合して講義を受けることすら、困難な状態です。いざ出動の折には役に立つ仕事ができるのか、不安な状態で望まねばならないでしょう。しかしDMATこそ多職種協働の最たるもので、5人の力を10人分にして火事場の馬鹿力を信じて活動する所存です。

災害医療というミッションも加わり、当院が果たすべきことが少しずつ増えますが、職員一丸となり地域のニーズに応えますので、皆様方には今まで通りご協力を賜ることができれば幸甚に存じます。

令和 4 年 3 月 新小山市市民病院 副院長・脳神経外科部長 宮脇 貴裕



目次:

副院長挨拶	1
新任医師紹介	2
コロナ対応とお願い	3
共同利用のお知らせ	4

ハイライト

- 1月に新任医師が入職いたしましたのでご紹介させていただきます。
- 患者支援センターからは、紹介・逆紹介率、連携の会、紹介患者数の報告、コロナ対応における当院からのお願い、来年度の開催予定を掲載させていただきます。
- 放射線部門からは、共同利用の運営についてまとめさせていただきました。

分からないこと、質問等ございましたら、いつでも、医療連携室までご連絡ください。

ポットラック カンファレンス 地域完結型 医療・連携の会

来年度の開催予定日をお知らせいたします。

たくさんのご参加をお待ちしております

ポットラック カンファレンス

偶数月、第1火曜日 19:15 ~

オンライン（Zoom）にて開催しております。

4/5, 6/7, 8/2,
10/4, 12/6, 2/7



地域完結型 医療・連携の会 ～ WEB ライブセミナー ～

奇数月、第3木曜日 19:15 ~

5/19, 7/21, 9/15,
11/17, 1/19, 3/16

今後も皆様のご意見を
とに改善を行っていきます
ので、たくさんのご参加を
お待ちしております。



ドクターの紹介

1月採用の医師を紹介します。



救急科
医員
鷹栖 相崇

令和4年1月より、新小山市民病院 救急科に赴任いたしました 鷹栖 相崇（たかのす とまたか）と申します。

自治医大救命センターで後期研修中です。現在地域研修として新小山市民病院で3ヶ月間お世話になっています。大学病院では多発外傷やショックなど、重症疾患を重点的に診療していました。専門は内科、外科、集中治療とわずにみます。この3ヶ月でプライマリケアや外来診療といった内科の基本に立ち返り、診断や治療を見つめ直す機会にしたいと考えています。

小山地区の医療にすこしでも貢献できるように努めて参りますので、温かくみまもっていただけましたら幸いです。

第34回 地域完結型医療・連携の会 WEBライブセミナー

第34回 地域完結型医療・連携の会 WEBセミナーをWEBと会場でのハイブリッドで行いました。



大谷
副院長



循環器内科
春成医師



外科
猪瀬医師



泌尿器科
山崎医師

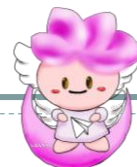


- 第34回医療・連携の会
- ・日時 1月20日(木) 19:15～
 - ・座長 大谷副院長
 - ・症例報告

循環器内科	春成医師
外科	猪瀬医師
泌尿器科	山崎医師
 - ・院外参加者
WEB 24名

当院の都合で、急遽、医師会の先生方にはWEBのみでのご参加をお願いしてしまい、大変ご迷惑をおかけいたしました申し訳ございませんでした。
各領域における紹介患者さんの症例報告後、いつもと変わらず、WEB参加者による活発な意見交換が行われました。

次回 第35回地域完結型医療・連携の会 WEBライブセミナーは、
令和4年 3月17日(木) 19:15～
脳神経外科、糖尿病・代謝内科、消化器内科の症例報告の予定です。
皆様のご参加をお待ちしております

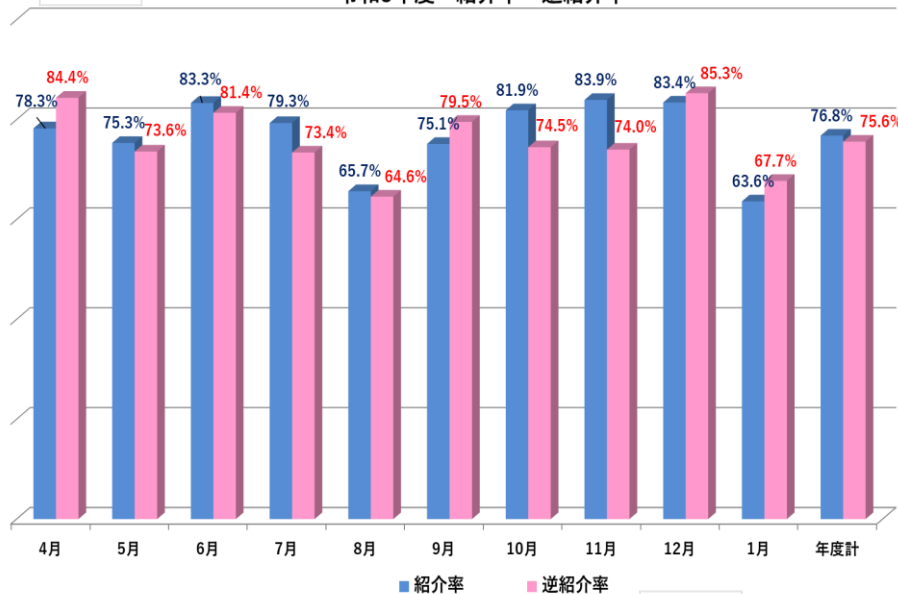


コロナ対応と誤嚥性肺炎など(コモンディーズ)の応需

新型コロナウイルス感染は第6波に突入しており、2月初旬時ではいまだ衰えず、今後も予断を許さない状況となっております。特に今回のオミクロン株はデルタ株より高い感染力をもっていることや、無症状でも感染するなどなかなか厄介なウィルスであると言われています。どの医療機関でもご苦労されていると思いますが、当院での対応に苦慮する点などのご報告をいたします。

図1

令和3年度 紹介率・逆紹介率



当院の本年度紹介率(図1)は地域の先生方のご理解により、1月までの累計で76.8%と高い数値を示しておりますが、8月と1月の落ち込みが特徴として見られます。これはコロナの第5、6波が大きく影響しています。ご承知のように、紹介率は新患を分母としていることから、紹介数もさることながら新患数の増減に影響を受けます。

図2

栃木県内新規感染者と新小山市市民病院呼吸器内科新患

それはコロナ増加時の呼吸器内科の新患増加(図2)からも第5、6波時と同時に増加していることが分かります。

また、当院の2020.7~2021.12までに当院に入院したコロナ感染患者は、約500人と栃木県南医療圏の中でも多数受け入れ、病床もその分確保して運営してきました。



感染拡大時の呼吸器内科の新患増加は、限られた医師、限られた病床の中で対応することになり、相当な労力が必要となります。そのため通常お受けできる疾患でもお断りすることがあり、通常診療にも大きな影響が出ています。中でも誤嚥性肺炎や尿路感染症など(コモンディーズ※)の対応に苦慮することが多く、さらに総合診療内科医師不足も重なり、他科で診療する場合があります。

限られた医療資源のなか対応していくと、本当に必要とされる医療が行き届かない場合も想定されます。そのため依頼病院や施設などで治療継続をお願いすることもあります。地域の先生方にはご迷惑とご負担をおかけすることもあります。相互理解と協力によりそれぞれの機能を十分に生かし、小山周辺の医療を支えていければと節に思う次第です。

※日常の外来診療でよく見かける病気

患者支援センター

(受付時間 平日 8:30~17:15)

医療連携室：

0285-36-0252

(緊急の患者紹介・転入相談・
その他地域連携に関すること)

予約専用ダイヤル：

0285-36-0254

(もの忘れ外来・内科・神経
内科・循環器内科の受診予約・
胃カメラ・心エコー・腹部エコー
などの検査予約)

医療相談室：

0285-36-0256

(医療相談・退院調整に関するこ
と・MSWに連絡・その他、外来
患者の各種相談に関すること)

FAX：

0285-36-0352

メール：

renkei@hospital.oyama.tochigi.jp

※メールでも受付しております。

地方独立行政法人 新小山市市民病院

〒323-0827

栃木県小山市神鳥谷 2251 番地 1

☎ 0285-36-0200 (代表)

ホームページ

<http://hospital-shinoyama.jp/>

看護師採用サイト

<http://hospital-shinoyama.jp/nurse/>

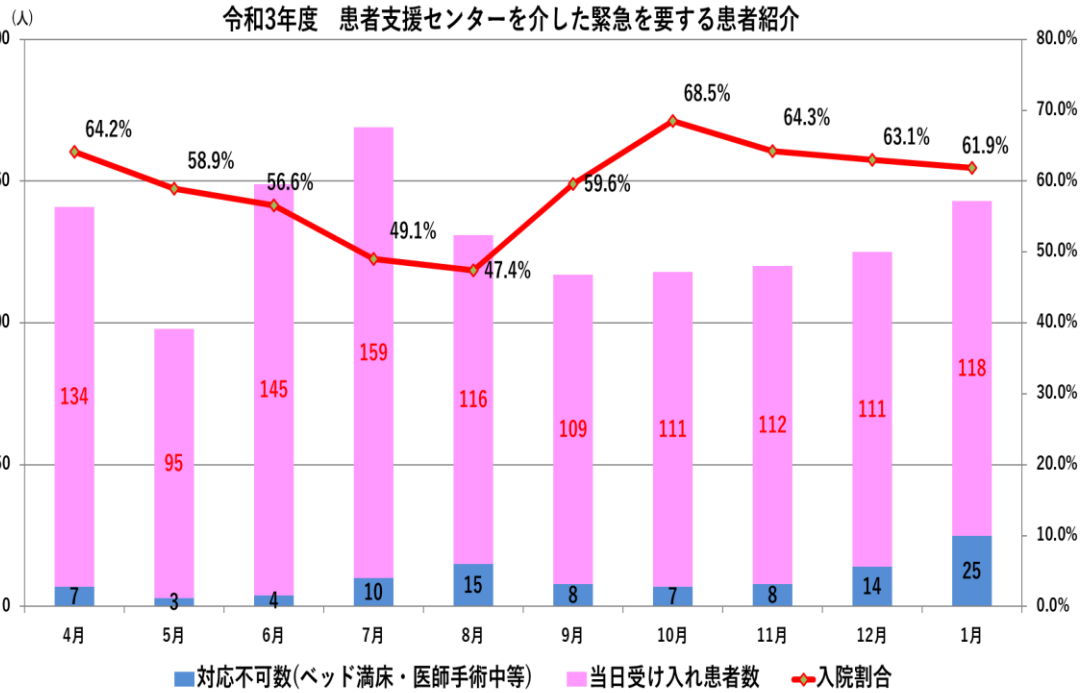
Facebook

<https://www.facebook.com/shin.oya.ma.city.hospital>

LINE 公式アカウント

右記 QR コードを
読み取ってください。

⇒⇒⇒



「患者支援センターを介した緊急を要する患者紹介」について集計して
みましたのでご報告させていただきます。

令和3年4月～令和4年1月 患者支援センターを介した緊急を要する
患者さんは1210人、その内約60%が入院になっています。今後も地域
との連携を深め、地域の中核病院としての責務を果たすために努めて
まいります。どうぞよろしくお願いいたします。

施設の共同利用について

放射線科をご利用いただきありがとうございます。



① 1点変更がございましたのでお知らせいたします。

【当日】

■ 検査終了後、放射線受付(18番)でお待ちください。放射線受付に
てCD-Rをお渡しいたします。

CD-Rを受け取りましたら当院でのお会計はありませんので、
そのまま帰宅となります。

→CD-Rの受け渡しは患者支援センター8番から放射線受付18番に変更

② 読影結果は、2022/02/08現在、100%翌営業日14時まで送信できて
おりますことをご報告いたします。

③ 施設訪問時に、先生方からいくつかの質問がございましたので、Q&A
を記載させていただきます。

Q 胸腰椎移行部の撮像は可能ですか？

A 可能です。撮影指示書の項目に無い部分でも臨機応変に対応します。

Q 体動が心配な高齢患者の撮像は可能ですか？

A 固定具などを使用して対応すると伝えました。

他にも可能な限り対応しますとお電話の際にお知らせください。

